



—自主夜間中学とともに—

西和に夜間中学をつくる会 事務局長 山本 直子 さん

■自主夜間中学に関わっていくことになる

私は、1991年に斑鳩町の町議会議員になり、3期12年務めました。斑鳩町には当時、最大手の人材派遣会社があり、300名ぐらいの外国人労働者が雇用されていました。多くはブラジル・ペルー・ボリビアといった南米の国の日系人です。労働者のほとんどが、カトリックの人たちで、奈良県河合町の西大和カトリックセンターに日曜日ごとのミサに通っておられました。そこで劣悪な労働環境や、ある日突然解雇されたなど様々な困りごとを相談されていました。

あるとき、私はその教会の信徒さんから、その話を聞き、それがきっかけで、教会に足繁く通うようになり、私の人生は激変しました。彼らの生活援助をするため、仲間と外国人労働者奈良保証人バンクの立ち上げに参加しました。その中で、どうしても解決できないことがあり、増え続ける外国人労働者とその家族の皆さんの日本語支援が課題となってきたのです。

そのことがきっかけで、私は自主夜間中学に携わることになりました。私の背中を押してくれたのは、当時の奈良県夜間中学連絡協議会の代表をしていた先生です。「西和地域に夜間中学を作ろうと思う、ついては山本さん一緒にやってくれませんか。」ということで、西和自主夜間中学の設立に関わることになりました。

■自主夜間中学設立時の苦勞

設立に向け、1年間を準備期間としました。そこでは、どんな人たちが自主夜間中学を必要としているのか、実際に生徒さんを募集する、スタッフを募集するという作業がありましたが、そこは奈良県夜間中学連絡協議会の方のサポートがありました。あとは、場所です。この西和地域で開校したいという思いは皆共通していましたが、やはり王寺町だろうと。なぜ王寺町かというと、交通の要所でありJRでも近鉄でも通える便利なところだからです。

具体的に王寺町のどこでするのかという話になって、助けていただいたのが、当時の斑鳩町の町長さんです。王寺町の町長さんに場所の提供をご相談していただいたところ、快諾いただ

き、当時の王寺町中央公民館を貸していただくことになりました。それ以降、私たちは、今は王寺町地域交流センターにおいて、火曜日・木曜日に開校中です。

■生徒さんとの学び

生徒さんとの学びの中で、私が今までずっと感じてきたことは、教える教えられるという関係では決してないということです。本当にいろんな場面で生徒さんから教えられることは、スタッフの側にもたくさんあります。だからこそ、スタッフの皆さんは自分の能力を無償で提供し、自分の時間も無償で提供してまで、生徒さんと関わろうとしてくれています。これは私も一緒に、そこが魅力だから継続してやっていけているのです。

今はどちらかと言うと、私はコーディネーターの立場にいます。いろんな生徒さんを見てみるとその方が一生懸命生きている生き様も、学習をしているその場面で垣間見ることが出来ます。勉強の形式がマンツーマンなので、生徒さんの中にスタッフの人たちが深く入り込んでいく姿勢をずっと見てきて、素晴らしいと思います。生徒さんも、もちろんスタッフの先生のことを慕ってくれていますし、スタッフの人たちもその一人の生徒さんをすごく大事にする、ただ単に教える教えられるという関係だけにしていないところに、生徒さんの力ってすごい、学びの力ってすごいと思います。

私は、奈良県に自主夜間中学があるということを知ってほしい。勉強したいという思いがあれば、どのような方にも来ていただきたいですし、そういう存在でありたいと思っています。私たちは、誰一人置き去りにしない教育を求めていきたいのです。

プロフィール 山本 直子 さん

- ・西和に夜間中学をつくる会 事務局長
- ・奈良県夜間中学連絡協議会 代表
- ・外国人労働者奈良保証人バンク 事務局長
- ・「女性への暴力」ホットライン奈良 事務局長